

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
16106007	知的情報処理技術を適用した構造物の戦略的ストックマネジメント	宮本 文穂（山口大学・大学院理工学研究科・教授）	A
<p>本研究は、社会基盤構造物の劣化、補修、更新期を迎える社会情勢を先取りし、既存コンクリート橋の診断・補修の最適化を支援する維持管理システムおよびデータベースの開発、広域下水管網の腐食劣化予測と効率的な補修工法選定を支援する予防保全システムの開発、コンクリート構造物の劣化を予測する維持管理システムの開発、道路の舗装、安全施設等の維持管理システムの開発など、様々な社会構造物の維持管理を合理的かつ戦略的に行う枠組みを提案し、システム化を通じて実用化した点に大きな研究成果が認められる。また、これらの成果は英語・中国語へ翻訳され、海外へも普及している点は高く評価できる。</p> <p>「山口大学附属安全環境研究センター」を拠点として、今後とも事例データベースを一層高度化し、世界中の社会基盤構造物の点検・診断、補修・補強、長寿命化が実現するよう、活動の持続的な展開に期待したい。</p>			